



学校だより

# 玉小っ子

倉敷市立玉島小学校  
令和8年6月30日  
No.7



あと3週間で夏休みです。子どもたちは、1学期のまとめに一生懸命取り組んでいます。1年生は小学校生活にすっかり慣れて、元気にあいさつをしたり、朝顔の水やりを頑張ったりして、たくましさを感じるようになりました。また、他の学年の子どもたちも、自分から進んで学習や行事等に取り組んでいる様子が多く見られ、目標として掲げた「何事にも主体的に取り組む」という玉小っ子の姿に向けて、着実に成長してきています。温かい励ましの声掛けやご協力に感謝申し上げます。

## 「子どもの人権について考えよう」 = PTA 人権教育講演会 =

6月20日(土)、授業参観に引き続き「PTA人権教育講演会」が行われました。倉敷市教育委員会 人権教育推進室 啓発指導員の大崎卓己先生から、5・6年生の児童と保護者の方を対象に「子どもの人権」についてお話をうかがいました。児童に対しては、「自分の気持ちや考えをしっかりと伝える。そして話し合う。」「困ったときにはSOSを出す。」ということをお話してくださいました。また、保護者の方に対しては、西日本豪災害での体験を踏まえ、いろいろなつながりの中で「何気ない日常にこそ感謝を」そして「具体的な言葉・態度・行動で、日々感謝を伝えよう」ということを教えていただきました。大崎先生の熱い思いが伝わるお話で、当たり前の日常の中で自分や周りの人とのつながりに感謝し、「わけ合えばよろこび、わけ合えば感謝」という心のもちようが大切であることを再認識しました。雨の中でしたが、多くの保護者の方々にご参加いただきありがとうございました。



### 保護者の方の感想



子どもの人権を守るお話では、頭ではわかっていたつもりでも、日常で子どもと接する中で、無意識に自分(親)の考えを押し付けたり、子どもの意見を聞かずに判断したりする場面もあったかもしれないと思い返してドキッとしました。子どもだけ一人の人間として接して尊重しないといけないんだと改めて思いました。これから子どもが「自分の気持ちや考えをしっかりと伝えられる」よう、「困ったときにSOSを出せる」ような家族関係でありたいと思いました。学校の中でも同じようにのびのび安心して過ごしてほしいと思います。

笑顔で温かい雰囲気の大崎先生のお話を聞くことができ、私にとっても学びの多い時間となりました。この世に生を受けた時から人権というものが存在し、「安心して幸せに生きるためのお守りを持ちながら、自分らしく生きていく」ために、自分自身が周りのみんなにどう関わっていくべきか?改めて自分の言動を振り返ることができました。特にわが子に対しては(中略)気になってしまうことがあります。心に余裕をもつようにし、言葉掛け一つ一つも、もっと慎重に、子どもが毎日のびのびと楽しく過ごしやすいようにしていこうと改めて思いました。

### 児童の感想



今回のお話を聞いて「人権」というのは、特別な人だけが持っているというわけではなく、人間だれもが持っている、とても大切な権利だということがわかりました。子どもの権利条約のお話が心に残っています。子どもにこんなにたくさんの権利があることを知らなかったのがびっくりしました。相手の立場に立って考え行動したり、思ったことと違う考え方をする人はたくさんいると思うから否定せず個性を認めたりしていきたいです。(5年児童)

子どもの人権がそんなにたくさんあることや、大切にされていることを知らなかったけれど、人権は大切にしないといけないし、生まれた時から周りの人たちが大切にしてきていることなんだということがわかりました。グループで意見を交流して、みんな違ったから、すごく勉強になりました。自分は関係ないと思っていることでも他の人は関係あると思っています。感じ方は、人によって違うということもわかりました。(6年児童)